

文部科学省によると、全国の小中学校などで2016年度に認知した

いじめの件数が前年度比9万8676件増え、過去最多の32万3808件

でした。自殺した児童生徒は同29人増の244人で、このうち、いじめが原因と

されたのは同1人増の10人でした。

いじめの認知件数は、小学校23万7921件（前年度比8万6229件増）、中学校7万1309件（同1万1807件増）、高校1万287

「いじめ認知」最多

4件（同210件増）などで、特に小学校で急増しています。

認知件数の増加は、自治体や学校の対応策を示す「いじめ防止基本方針」で「けんか」や「ふざけ合い」もいじめと捉えるよう方針を改めたことで、各学校が積極的に認知したとみられています。いじめを把握した場合は、いじめを傍観せず、親や教師に知らせましよう。

防犯一口メモ